

A区分・C区分共通

No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和7年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

別添	なし
----	----

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	演劇	種目	ミュージカル
----	----	----	--------

応募区分(応募する区分を選択してください。)

応募区分	A区分
------	-----

複数応募の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、応募企画数から除く

複数応募の有無	無	応募総企画数	
---------	---	--------	--

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

## 文化芸術団体の概要

ふりがな 制作団体名	かぶしきがいしゃおーるすたっふ 株式会社オールスタッフ		団体ウェブサイトURL <a href="https://www.allstaff.co.jp/">https://www.allstaff.co.jp/</a>
代表者職・氏名	代表取締役社長 中嶋友紀子		
制作団体所在地	〒 111-0051	最寄り駅(バス停)	蔵前
	東京都台東区蔵前2-4-5 K-FRONTビル8F		
電話番号	03-5823-1056		
ふりがな 公演団体名	みゅーじかるかんぱにーいっつぷおーりーず ミュージカルカンパニー イッツフォーリーズ		団体ウェブサイトURL <a href="https://www.allstaff.co.jp/">https://www.allstaff.co.jp/</a>
代表者職・氏名	代表取締役 中嶋友紀子		
公演団体所在地	〒 111-0051	最寄り駅(バス停)	
	東京都台東区蔵前2-4-5 K-FRONTビル8F		
制作団体 設立年月	1962年 5月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	相談役:土屋由美 代表取締役:中嶋友紀子 取締役:吉田健二,中島康江	制作部:松本峻汰・鎌田奈々美・田中みゆき 経理:秦明子・平澤真帆 演技部:劇団員 約50名 文芸部:3名	
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	事務(制作)専任の担当者 を置く	本事業担当者名	松本峻汰 鎌田奈々美
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者	秦明子
本応募にかかる連絡先 (メールアドレス)	matsumoto@allstaff.co.jp 松本峻汰 kamata@allstaff.co.jp 鎌田奈々美		

<p><b>制作団体沿革・ 主な受賞歴</b></p>	<p>1962年作曲家「いずみたく」が音楽及び舞台制作の集団として発足。同時に多くの歌手(佐良直美、由紀さおり、ピンキーとキラーズ)等を養成。「いずみたく」自身は&lt;恋の季節&gt;&lt;手のひらを太陽に&gt;&lt;見上げてごらん夜の星を&gt;等、数々の楽曲を作曲。その後、日本のオリジナルミュージカルの創作、作曲活動に専念。1977年ミュージカル劇団フォーリーズ(後に改称・イツフォーリーズ)を旗揚げし、数々のミュージカル作品を世に送り出す。「船長」「洪水の前」「おれたちは天使じゃない」他。1992年いずみたく亡き後も、その遺志を受け継ぎ、児童青少年、学校、一般と幅広い年齢層に向けてのミュージカルを全国で公演する。近年の上演作品「ルドルフとイッパイアッテナ」「青空の休暇」「見上げてごらん夜の星を」「小さい“つ”が消えた日」「ゲゲゲの鬼太郎」「死神」「秋に咲く桜のような」「遠ざかるネバーランド」「じいじのふしぎなレストラン」「YOSHIKO～悔いなき命を～」「てだのふあ」「ナミヤ雑貨店の奇蹟」「獅子吼」「おれたちは天使じゃない」「洪水の前」「魍魎の匣」「ピエタ」「聲の形」「鉄鼠の檻」他。&lt;受賞歴&gt;1963年 見上げてごらん夜の星を レコード大賞作曲賞、1964年夜明けのうた レコード大賞歌唱賞、1967年 世界は二人のために レコード大賞新人賞、1968年 恋の季節 レコード大賞作曲賞・新人賞、1969年 いじやないの幸せならば レコード大賞大賞、1982年 芸術祭賞「洪水の前」企画・制作 大衆芸能部門優秀賞、1985年 文化庁芸術祭「歌麿」演劇部門 大賞</p>	
<p><b>学校等における 公演実績</b></p>	<p>1. 親と子どものミュージカル「ルドルフとイッパイアッテナ」 府中市教育委員会、新宿区教育委員会、調布市教育委員会、他の小学校芸術鑑賞教室</p> <p>2. ファンタジーミュージカル「霧のむこうのふしぎな町」 東海村教育委員会、増穂町教育委員会、文京区教育委員会、日立教育委員会 新潟市中学校国語研究会 他の小・中学校芸術鑑賞教室</p> <p>3.ミュージカル「おれたちは天使じゃない」 山形・長野・浜松・北九州 他高等学校合同芸術鑑賞行事 桐蔭学園など近郊の高校鑑賞</p> <p>4.ファンタジー「ねこはしる」 金沢市小学校演劇鑑賞教室、増穂町教育委員会、文京区教育委員会</p> <p>5.ミュージカル「フェアブル昆虫記」 金沢市小学校演劇鑑賞教室、袖ヶ浦市教育委員会、他の小学校芸術鑑賞教室</p> <p>6.文化庁本物の舞台芸術体験事業・(子どものための優れた～・文化芸術による子供の育成事業・文化芸術による子供育成総合事業文化芸術による子供育成推進事業・舞台芸術等総合支援事業) H20年度ミュージカル「フェアブル昆虫記」、H21年度ミュージカル「野菊の墓」 H22・23年度ミュージカル「霧のむこうのふしぎな町」 H25・26・27年度 ミュージカル「フェアブル昆虫記」 H28・29・30年度 ミュージカル「ルドルフとイッパイアッテナ」 R1・2・3・4年度 ミュージカル「小さい“つ”が消えた日」 R5・6年度 ミュージカル「ルドルフとイッパイアッテナ」</p>	
<p><b>特別支援学校等における 公演実績</b></p>	<p>特別支援学校のみでの学校公演実績はないが、特別支援学級を含めた上演は、上記演目で実施してきている。また、巡回公演ではなく、芸術家派遣事業において、特別支援学校、および養護施設などでのワークショップは数多く実践してきており、そこから学んで来たことも多い。</p> <p>鑑賞の場合、基本的には健常者への公演とほぼ変更していないが、座席割や、その生徒たちの障害の度合いにより、できる限りの対応を努力している。また、ワークショップ参加の場合も同じで、事前に生徒たちの情報をもらい、できない動きを把握した上で、できるだけ同じ対応をしている。特に、支援学級の生徒は、音楽やダンスが好きな子どもたちが多く、一緒に楽しむことを体験させるよう、考えてプランする。子どもたちの情報や、授業の現状を事前に理解できるよう、学校とコミュニケーションを綿密に取ることを重視。集中力の継続時間などに個人差はあるが、鑑賞や体験できるサポートしている。</p>	
<p><b>参考資料の有無</b></p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>
<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p><a href="https://youtu.be/xYzq1cXSieg">https://youtu.be/xYzq1cXSieg</a></p>	
<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID:</p>	<p></p>
<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>PW:</p>	<p></p>

別添	なし
----	----

## 公演・ワークショップの内容

【公演団体名 ミュージカルカンパニー イッツフォーリーズ】

対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○
	小学生(高学年)	○	中学生	○
企画名	ミュージカル「バウムクーヘンとヒロシマ」			
企画のねらい	<p>広島出身の巢山ひろみ氏が幅広く取材して著作した原作(2020年初版)。主人公は広島に住むバウムクーヘンが大好きな小学6年生の男の子。彼は夏休みに、広島湾の似島にバウムクーヘンづくりの平和キャンプに参加する。そこで、時空を超えた、ドイツ捕虜カール・ユーハイムに出会い・・・バウムクーヘンと平和の繋がりを学んでいく物語。</p> <p>テーマは繋ぐ・継ぐ・気づく。時代、国境を越えた平和への思いを未来へ繋ぐこの作品が、子どもたちに歴史的事実を学ばせ、希望を与える。また、私たち大人へ、今何を子どもたちに残し、伝えるべきなのかということ、考えさせる機会するため、このミュージカルを企画した。</p>			
演目概要・演目選択理由	<p>原作＝「バウムクーヘンとヒロシマ」著：巢山ひろみ、絵：銀杏早苗(くもん出版刊/第68回産経児童出版文化賞産経新聞社賞を受賞)</p> <p>日本で初めてバウムクーヘンを焼いたのは、捕虜として広島に連れてこられたカール・ユーハイム。販売された場所は、のちに原爆ドームとよばれるようになる建てられたばかりの物産陳列館だった、という実話をもとに、カールが捕虜として収容されていた広島県の似島を少年・颯太が訪れたことから、平和の大切さを学ぶ物語に、共感した。</p> <p>世界のどこかで今なお戦争が続いている現代で、今を生きる子どもたちに歴史を学び、平和についてもっと考える機会を与えたい。ミュージカルの醍醐味である音楽やダンスを楽しみつつ、小学6年生の主人公の目を通して感じた戦争の酷さと平和のありがたさを、より多くの子どもたちが共感できるように、この原作を選択、企画した。</p>			
児童・生徒の参加又は体験の形態	<p>開演して約10分後、「♪バウムクーヘングレートジャーニー」というミュージカルナンバーで、100年間でバウムクーヘンに出会った人々として登場し、ダンスで参加(参加生徒数20名まで)。</p> <p>開演して約1時間25分後カーテンコールにて、「♪バウムクーヘングレートジャーニー」カーテンコールver.で登場し、ダンスで参加(参加生徒数30名まで)。その後、参加した生徒全員で観てくれた他の生徒に感謝の気持ちを込めて、テーマ曲「♪へいわのうた」を出演者と共に歌います。</p>			
児童・生徒の参加可能人数	本公演	参加・体験人数目安	30～50人	
		鑑賞人数目安	約600人まで	
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>原作＝巢山ひろみ(くもん出版刊) 脚本・作詞＝大西弘記(TOKYOハンバーグ) 演出＝磯村 純(青年座) 音楽＝田中和音 美術＝根来美咲(青年座) 振付＝明羽美姫(イツフオーリーズ) 衣裳＝富永美夏 照明＝鷺崎淳一郎(有限会社ライティングユニオン) 音響＝返町吉保(株式会社キャンビット) 歌唱指導＝佳田亜樹 舞台監督＝今村智宏(青年座) 予定</p>			
		公演時間	100	分

<p style="text-align: center;"><b>出演者</b></p>	<p>颯太役＝森山真衣(予定)          カール・ユーハイム役＝半澤昇(予定)          エリーゼ・颯太の母・優斗のひい婆さん役＝近藤萌音(予定)          オートマー役＝森隆二(予定)          ウォルシュケ役＝宮村大輔(予定)          プレヒト役＝志賀遼馬(予定)          重松文子(フミさん)役＝鈴木彩子(予定)          絵真理(えまり)役＝刀根友香(予定)          美晴(みはる)役＝吉田美緒(予定)          優斗(ゆうと)・ベッカー＝東城由依(予定)          灯央(てお)役＝成観礼(予定)          颯太のおじいさん・クスノキ爺さん役＝石鍋多加史(予定)</p> <p style="text-align: right;">全12名</p>																				
<p>演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴          ※3名程度          ※3行程度/名</p>	<p>脚本・作詞＝大西弘記(TOKYOハンバーグ)…社会問題を取り扱いながら、一筋の涙が零れるかどうかといった「心の栄養」をモットーにした、強い普遍性と現代リアルのバランスを保つ丁寧な劇作・演出スタイルで舞台側と客席側を繋ぐ。青少年作品を多く手掛け定評がある。          演出＝磯村 純(青年座)…愛知県出身。桐朋学園短期大学専攻科演劇専攻修了後、1996年に劇団青年座入団。書き下ろし作品の演出に定評があり、時代の先端を行く劇作家の作品を多く演出。また、青年座の代表作である「ブンナよ、木からおりてこい」五代目演出家として演出を担当。          音楽＝田中和音…ピアニスト・作編曲家。大阪芸術大学にて前田憲男氏に師事。ピアニストとして参加したバンドが横浜ジャズプロムナードにおいてグランプリを受賞。作編曲家としてはビッグバンド編成の編曲を数多く手がけるほか、管楽器愛好家に人気の「めっちゃモテ・シリーズ」や合唱譜を中心に出版多数。</p>																				
<p>本公演          従事予定者数          (1公演あたり)          ※ドライバー等          訪問する業者人数          含む</p>	<p>出演者: 12 名          スタッフ: 11 名          合計: 23 名</p>	<p><b>運搬</b></p>	<p>積載量: 4 t          車長: 9 m          台数: 2 台</p>																		
<p>本公演          会場設営の所要時間          (タイムスケジュール)          の目安</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; text-align: center;">前日仕込み</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">無</td> <td colspan="2" style="width: 25%; text-align: center;">前日仕込み所要時間</td> <td colspan="2" style="width: 25%; text-align: center;">6 時間程度</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">到着</td> <td style="text-align: center;">仕込み</td> <td style="text-align: center;">上演</td> <td style="text-align: center;">内休憩</td> <td style="text-align: center;">撤去</td> <td style="text-align: center;">退出</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">7:45</td> <td style="text-align: center;">8:00～14:00</td> <td style="text-align: center;">14:00～15:40</td> <td style="text-align: center;">0分</td> <td style="text-align: center;">15:40～17:30</td> <td style="text-align: center;">17:30予定</td> </tr> </table> <p>※巡演初日の学校及び、午前中開演の学校の場合、前日仕込みが必要です。※本公演時間の目安は概ね2時限分程度。</p>	前日仕込み	無	前日仕込み所要時間		6 時間程度		到着	仕込み	上演	内休憩	撤去	退出	7:45	8:00～14:00	14:00～15:40	0分	15:40～17:30	17:30予定		
前日仕込み	無	前日仕込み所要時間		6 時間程度																	
到着	仕込み	上演	内休憩	撤去	退出																
7:45	8:00～14:00	14:00～15:40	0分	15:40～17:30	17:30予定																
<p>本公演          実施可能日数          目安          ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; text-align: center;">6月</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">7月</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">8月</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">9月</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">0日</td> <td style="text-align: center;">0日</td> <td style="text-align: center;">0日</td> <td style="text-align: center;">2日</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">10月</td> <td style="text-align: center;">11月</td> <td style="text-align: center;">12月</td> <td style="text-align: center;">1月</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">21日</td> <td style="text-align: center;">8日</td> <td style="text-align: center;">15日</td> <td style="text-align: center;">0日</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">※平日の実施可能日数目安をご記載ください。</td> <td style="text-align: center;">計 46日</td> </tr> </table>	6月	7月	8月	9月	0日	0日	0日	2日	10月	11月	12月	1月	21日	8日	15日	0日	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。			計 46日
6月	7月	8月	9月																		
0日	0日	0日	2日																		
10月	11月	12月	1月																		
21日	8日	15日	0日																		
※平日の実施可能日数目安をご記載ください。			計 46日																		

(図1) 舞台の設置イメージ。体育館の床面に設置します。



(図2) ミュージカル「バウムクーヘンとヒロシマ」舞台写真



公演に係るビジュアルイメージ  
(舞台の規模や演出がわかる写真)

※採択決定後、  
図面等の提出をお願いします。

著作権、上演権利等の許諾状況	各種上演権、使用权等の許諾手続きの可否	該当あり	該当コンテンツ名	原作使用权
	該当事項がある場合	権利者名 くもん出版	許諾確認状況	使用(上演)許諾取付済

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
----	----

【公演団体名 ミュージカルカンパニー イッツフォーリーズ 】

ワークショップのねらい	<p>ワークショップの一番の目的は、子どもたちが講師とともに一緒に遊びながら、自分の好きなジャンルで表現することです。その結果、自分の知らない特技が見えたり、新しい自分を発見したりします。</p> <p>講師は子どもたちとのコミュニケーション、あるいは子どもたち同士のコミュニケーションを図り、彼らが表現しやすい環境を作ります。</p> <p>この文化庁の公演では出演することがマストですので、本番の場面を想像させ、そこに自分たちが出演者となることを意識させます。参加者一人一人が舞台に必要な出演者として、最終的にそれぞれのオリジナルな参加シーンを創り上げること、作品のテーマについて考えることが目的です。</p> <p>そして本番の舞台セット、照明、音響の中でプロのミュージカル俳優と一緒に出演し一緒に作品を作り上げる体験によって、新しい自分を発見すること、舞台上での自分達の表現が、他の生徒に感動を伝えることができるということを実感してもらえよう取り組みます。</p>		
児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	30～50人
ワークショップ実施形態及び内容	<p>講師は4～5名、1日100分(2時限 プラス休憩時間)で行います。</p> <p>各参加場面、性別、学年は問いません。</p> <p>基本はすべて遊びから入ります。遊んでいるうちに、ミュージカルに必要な歌・ダンス・芝居、もちろん全てに挑戦してもらいますが、自分の特技を伸ばしつつ、何より楽しむ事を目標にします。</p> <p>①プレイ1. ミュージカルについて解説 講師による5分くらいのミュージカルパフォーマンスを行います。 そして、これを観た上でミュージカルに必要な要素は何か、生徒に質問しつつ話します。</p> <p>②プレイ2. コミュニケーションゲーム(シアターゲーム) 全員で身体と頭を動かし、アイコンタクトや、言葉のキャッチボール、即興ゼスチャーゲームなどを行いながら、全体の一体感と仲間意識を高めます。</p> <p>③プレイ3. ダンス 体を動かすゲームをしながら、ダンスのステップに繋がります。技術は問いません。</p> <p>④プレイ4. ステージング 前半Aチーム(20名まで)、後半Bチーム(30名まで)の2チームに分かれて、その際、ただダンスの練習をするだけでなく、その学校の生徒によるオリジナルの世界感で大事にし、参加する生徒が意見を出し、一つの場面を作り出していく面白さを体験してもらいます。</p> <p>⑤プレイ5. 歌のもつ意味を考える。 テーマソング「へいわのうた」の歌詞の意味を考えながらみんなで歌います。 振付に少し手話も入れた動きがあるため、その練習もします。</p> <p>⑥リハーサル 本番に見立て、エリアを区切って場当たりや実際に音楽に合わせて入退場含め練習を行います。</p> <p>上記内容をスムーズに進めるため、また参加の生徒の意欲を高めるために、ワークショップ前に振付動画をお送りします。できればこちらを見て、どんな場面に出るのか、どんな音楽なのかを見ていただきたいと思っております。</p>		

<p>その他ワークショップに関する特記事項等</p>	<p>基本的には本番出演する生徒のみで行います。(上限 A20人、B30人 合計50人) 50人までを上限としますが、こちらは舞台上に上がれる人数になりますので、1クラス、学年の人数の都合でこの人数内では難しいという場合は、客席から歌の参加など、別の形式を相談させていただきます。</p> <p>また、ワークショップとは別に、本番当日にも約1時間、参加の生徒たちと参加場面の最終リハーサルを行います。本番の舞台セット、照明、音響の中で、普段とは違う環境で安全に、楽しく本番に臨めるようにしていきます。</p>
----------------------------	--

別添	なし
本事業への応募理由 <span style="float: right;">【公演団体名 ミュージカルカンパニー イッツフォーリーズ】</span>	
本事業に対する 取り組み姿勢、および 効果的かつ円滑に実施 するための工夫	<p><b>①本事業に対する取り組み姿勢</b></p> <p>年々生徒数の減少や授業時間の確保のために、全国の学校で鑑賞行事が減少傾向にあります。本事業は約15年の間で鑑賞行事が困難な学校含め、小規模校にも実施することができ、その重要さを痛感しております。また、事前ワークショップを開催できることにより、学校の下見や生徒の様子も伺えることから、公演をより充実した事業内容にできることに感謝しております。</p> <p>携帯電話、ゲーム機器の普及、さらにはコロナ禍による子どもたちのコミュニケーション能力の低下は、社会的課題であり、その解決方法をもっと模索すべきと思っています。演劇は、コミュニケーション向上のための資質が存在し、生徒たち、あるいは学校全体のコミュニケーションの向上をこの事業のワークショップ・鑑賞事業の中で意識したいと考えます。</p> <p>また私達劇団側にとっても、事前のワークショップや学校での鑑賞教室は、意識改革にも大きな影響を与えていると考えています。ワークショップで何を体験させたいのか？本番の鑑賞で、何を感じてほしいのか？こんな、当たり前の事を学校鑑賞行事に関わる、キャスト、スタッフすべてが時間かけて考え、検証・実践を繰り返してきました。その結果、子どもたちが少しでも文化芸術に興味を持ち、そのことが心を豊かにし、社会への意識・貢献に繋がることを、後日学校の先生や子どもたちのアンケートから、確信しております。</p> <p>現在私たちの劇団では、幅広い世代、地域を対象に、年間100ステージを超えるミュージカルの上演活動と、130日を超えるワークショップ等の表現活動と、そのための勉強会行っております。この実績とノウハウを生かして、演劇鑑賞行事の必要性和舞台芸術の素晴らしさを、すべての学校そして子どもたち、先生方に伝えつつ、優れたミュージカル作品を数多くの小学校、中学校、高等学校の巡回公演として行い、更に次世代に繋がる文化の担い手や、文化芸術に興味を持つ人材を育てて行きたいと思っております。</p> <p><b>②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫</b></p> <p>まずは、担当する先生とのコミュニケーションを大事にしております。ワークショップの日程調整や概要説明だけでなく、より詳しいワークショップ内容や作品の事、生徒さんの取り組み方などを丁寧に説明したいと思います。</p> <p>また、学校側への連絡は、公演独自の確認書の他、ワークショップなどで使用する音源や譜面などを事前に送り、作品への期待感を持っていただくことを努力いたします。また振付動画を事前に共有することで、ワークショップ前に期待を高め、本番に向けて生徒が練習しやすい環境を作るよう努めています。</p> <p>そして、ワークショップにうかがった際に、生徒のモチベーションだけでなく、この事業に取り組む先生方のモチベーション、そして学校全体の鑑賞事業を迎えるモチベーションを上げていきたいと思っております。</p> <p>特にこの事業が初めての学校は、「ワークショップ」という耳慣れない行事が決して面倒な物にならないように、柔らかい言葉で説明します。</p> <p>生徒参加者に対しては事前に名簿をいただいたり、当日は名札をつけ、出来る限り名前と顔を一致させるための努力をし、事前ワークショップと本番での、たった2回の出会いを特別なものにできるようにいたします。</p> <p>また、ワークショップの資料としてビデオで記録を残し、本番までの間に練習用として使用して頂きます。</p> <p>その他、災害やインフルエンザなどの、緊急連絡時の対策なども準備し、何事にも臨機応変に対応できるよう、努力いたします。</p>